

# 植物群落の解説

## <01> 沈水植物群落

1/1

分類	河辺植生域
基本分類コード	01
基本分類	沈水植物群落
基本分類の定義	<p>沈水植物が優占する植物群落。原則として優占種で区分される。</p> <p>ただし、以下の場合に注意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外来種と在来種が混生する場合は、在来種の被度が非常に少ない場合(+・2または+程度)を除いて、在来種に代表される群落とする。</li> <li>・在来種が混生する場合は、ホザキノフサモ(富栄養池沼)、マツモ(泥質)、セキショウモ(貧栄養な流水)、ホッスモ(貧栄養のため池や山間の水田)、ササエビモ(冷涼地の湖沼や河川)、イトクズモ(海岸付近の湖沼や塩湿地、干拓地)など生育環境に特性を持つ種を代表させる群落とする。ただし、これらの種の被度が非常に少ない場合(+・2または+程度)は優占種で群落区分を行う。</li> <li>・沈水植物以外の植物と混生する場合は、その他の種(例、ヒシ・ヤナギタデ・ミヅソバ・ツルヨシ・ヒメガマ・マコモ・ヨシなど)の被度が非常に少ない場合(+・2または+程度)を除いて、その他の種の群落として区分する。</li> </ul>

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
1001	オオカナダモ群落 *	外来種のオオカナダモ1種が明らかに優占する群落。ホザキノフサモ・フサモなどの在来種が高い被度で混生する場合は、在来種の群落に含める。コカナダモと混生する場合は、優占種の被度に準じて区分する。	011
1002	コカナダモ群落 *	外来種のコカナダモ1種が明らかに優占する群落。ホザキノフサモ・フサモなどの在来種が高い被度で混生する場合は、在来種の群落に含める。オオカナダモと混生する場合は、優占種の被度に準じて区分する。	012
1003	ホザキノフサモ群落	ホザキノフサモが優占あるいはオオカナダモ・コカナダモなどの外来種やエビモ・マツモ・ササバモ・ヤナギモ・クロモ・イトモなどと混生する群落。中～富栄養水域から汽水域にかけて生育する。	013
1004	エビモ群落	エビモが優占する群落。エビモは流水域の普通種で水質汚濁にも強い種である。	014
1005	ヤナギモ群落	ヤナギモが優占する群落。ヤナギモは主として流水中に生育する普通種である。	015
1006	ササバモ群落	ササバモが優占する群落。エビモ、ホザキノフサモ、イバラモなどと混生する場合もあるが、優占種の被度に準じて区分する。	016
1007	クロモ群落	クロモ1種が明らかに優占する群落。ホザキノフサモ、エビモ、イトモなどが混生する場合もあるが、優占種の被度に準じて区分する。	017
1008	フサモ群落	フサモ1種が明らかに優占する群落。エビモ、イトモなどが混生する場合もあるが、優占種の被度に準じて区分する。	018
1009	ササエビモ群落	ササエビモが優占する群落。冷温帯(釧路、日光、箱根など)に分布。	019
1010	マツモ群落	マツモが優占する群落。エビモ・フサモ・クロモ・オオカナダモ・コカナダモ・セキショウモなどと混生する場合は、マツモ群落に含める。泥質土に生育する。	0110
1011	セキショウモ群落	セキショウモが優占する群落。エビモ・フサモ・ササエビモ・クロモ・コカナダモなどと混生する場合は、セキショウモ群落に含める。貧栄養な流水中に生育する。	0111
1012	イトクズモ群落	イトクズモが優占する群落。クロモ・セキショウモなどと混生する場合は、イトクズモ群落に区分する。海岸付近の湖沼や塩湿地、干拓地などに生育する。	0112
1013	イトモ群落	イトモが優占する群落。	0113
1014	キクモ群落	キクモが優占する群落。	0114
1015	ヒロハノエビモ群落	ヒロハノエビモが優占する群落。止水域、稀に河川などにも生育し、汽水域にも出現する。	0115
1016	コウガイモ群落	コウガイモが優占する群落。	0116
1017	バイカモ群落	バイカモが優占する群落。流水中に出現する。バイカモ、ミシマバイカモ、イチョウバイカモ、チュウゴクバイカモ、チシマバイカモなどのバイカモ類はすべてバイカモ群落とする。	0117
1018	ホッスモ群落	ホッスモが優占する群落。貧栄養のため池や山間の水田に多い。	0118
1019	カワゴケソウ群集	カワゴケソウが優占する群落。カワゴケソウ科の種は全てこの区分に含める。河川急流域の岩盤や大きな石に固着して生育する。鹿児島県と宮崎県の一部の河川にのみ分布する。	0119

\* : 外来種が優占する植物群落

# 植物群落の解説

## <02> 浮葉植物群落

1/1

分類	河辺植生域
基本分類コード	02
基本分類	浮葉植物群落
基本分類の定義	浮葉植物が優占する植物群落。原則として優占種に代表される群落として区分される。なお、ウキクサ類は群落として取り扱わず、開放水域(水田に生育している場合は水田)として扱う。 ・沈水植物群落と混生する場合は、原則として浮葉植物群落として取り扱う。

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
2001	コウホネ群落	コウホネが優占する群落。ヨシ・マコモなどと混生する場合がある。	021
2002	ヒシ群落	ヒシまたはオニビシ、コオニビシが優占あるいは混生する群落。いずれの場合もヒシ群落として一括する。中～富栄養水域に生育する。	022
2003	ヒメビシ群落	ヒメビシが優占する群落。ヒシ群落と比べて分布地が少ない。	023
2004	ヒルムシロ群落	ヒルムシロが優占する群落。ヨシなどの抽水植物と混生する場合もあり、その場合は上層を被う種のカテゴリーに含める。	024
2005	オオフサモ群落 *	外来種のオオフサモが優占する群落。	025
2006	ホテイアオイ群落 *	外来種のホテイアオイまたはボタンウキクサが優占する群落。主に暖地に分布する。	026
2007	ホソバミズヒキモ群落	ホソバミズヒキモが優占する群落。ヤナギモ・ホザキノフモ・エビモ・キクモ等の沈水植物やノタヌキモ、ガガブタなどと混生する場合もある。	027
2008	ガガブタ群落	ガガブタが優占する群落。マツモ等の沈水植物と混生する場合もある。	028
2009	アサザ群落	アサザが優占する群落。ヒシなどと混生する場合もある。	029
2010	オグラコウホネ群落	オグラコウホネが優占する群落。	0210
2011	ヒシモドキ群落	ヒシモドキが優占する群落。	0211
2012	オヒルムシロ群落	オヒルムシロが優占する群落。	0212
2013	ホソバヒルムシロ群落	ホソバヒルムシロが優占する群落。	0213
2014	オニバス群落	オニバスが優占する群落。	0214
2015	ヒメコウホネ群落	ヒメコウホネが優占する群落。	0215
2016	フトヒルムシロ群落	フトヒルムシロが優占する群落。	0216

\* : 外来種が優占する植物群落

# 植物群落の解説

## <03> 塩沼植物群落

1/1

分類	河辺植生域
基本分類コード	03
基本分類	塩沼植物群落
基本分類の定義	草本類・木本類を問わず、汽水域の沈水植物や塩沼地に特有な植物が優占する植物群落。ヨシ・サンカウイなどと混生し、見かけ上単子葉植物群落の相観を持つ場合があるが、塩生地性の植物が生育している場合は、原則として塩沼植物群落に区分する。

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
3001	コアマモ群集	コアマモが優占する海草群落。	031
3002	カワツルモ群集	カワツルモが優占する群落。リュウノヒゲモが混生することもある。汽水域にみられる。	032
3003	ツルヒキノカサウミミドリ群集	シバナ・ウミミドリ・チガヤ・ヤマアワなどが優占し、ツルヒキノカサ(ヒメキンポウゲ)・エゾツルキンバイが特徴的に出現する群落。	033
3004	シチメンソウ群落	シチメンソウが明らかに優占する群落。フクド、ヒロハマツナ、ウラギクなどと混生する場合は、優占種の被度で区分する。	034
3005	アキノミチヤナギーホソバナハマアカザ群集	アキノミチヤナギーあるいはホソバナハマアカザが優占または混生する群落。斑紋状に点在する群落。	035
3006	シバナ群集	見かけ上ヨシが優占する場合もあるが、特徴的にシバナが出現する群落。ウラギクが混生することもある。暖地に分布する。	036
3007	ナガミノオニシバ群集	ナガミノオニシバが優占する群落。見かけ上ヨシが優占する場合もある。	037
3008	フクド群集	フクドが明らかに優占する群落。ウラギク・シチメンソウ・ヒロハマツナ・ナガミノオニシバと混生する場合もあるが、優占種の被度で区分する。	038
3009	ウラギク群落	ウラギクが明らかに優占する群落。フクド・シチメンソウ・ヒロハマツナなどが混生する場合もあるが、優占種の被度で区分する。見かけ上ヨシが優占する場合もある。	039
3010	ヒロハマツナ群落	ヒロハマツナが明らかに優占する群落。フクド・シチメンソウなどが混生する場合もあるが、優占種の被度で区分する。見かけ上ヨシが優占する場合もある。	0310
3011	シオクグ群集	シオクグが明らかに優占する群落。ヨシ・シチトウ・チガヤ・ナガミノオニシバ・アイアシなどと混生する場合もある。見かけ上、ヨシが優占する場合もあるが、シオクグの被度が非常に少ない場合を除いて、シオクグ群集として区分する。	0311
3012	アイアシ群集	アイアシが優占あるいはヨシと混生する群落。見かけ上、ヨシが優占する場合もあるが、アイアシの被度が非常に少ない場合を除いて、アイアシ群集として区分する。	0312
3013	イセウキヤガラ群集	イセウキヤガラが優占する群落。	0313
3014	ヒトモトスキ群集	ヒトモトスキが優占する群落。	0314
3015	オオクグ群落	オオクグが優占する群落。見かけ上、ヨシが優占する場合もあるが、オオクグの被度が非常に少ない場合を除いて、オオクグ群落として区分する。	0315
3016	シチトウ群落	シチトウが優占、あるいはヨシと混生する群落。見かけ上、ヨシが優占する場合もあるが、シチトウの被度が非常に少ない場合を除いて、シチトウ群落として区分する。	0316
3017	ハマボウ群集	ハマボウが優占あるいはヨシと混生する低木群落。見かけ上、ヨシが優占する場合もあるが、ハマボウの被度が非常に少ない場合を除いて、ハマボウ群落として区分する。	0317
3018	ハマヒエガエリ群落	ハマヒエガエリが植被率 50%前後で優占する群落。路傍や空き地生の種が多く出現する。造成等の人為的かく乱の影響を受けている群落。	0318
3019	ウシオツメクサ群落*	外来種のウシオツメクサが優占する群落。類似種のウシオハナツメクサがあるので識別に留意すること。	0319
3020	ホソバナハマアカザハママツナ群集	ホソバナハマアカザあるいはハママツナが優占する群落。ホコガタアカザが優占する場合もこれに含める。	0320
3021	ハマサジ群集	ハマサジが明らかに優占する群落。フクド・シオクグ・ナガミノオニシバ・イソヤマテンツキ・ハママツナなどと混生する場合もある。	0321
3022	イソヤマテンツキ群集	イソヤマテンツキが優占する群落。	0322
3023	エゾウキヤガラ群落	エゾウキヤガラが優占する群落。	0323

\* : 外来種が優占する植物群落

# 植物群落の解説

## <04> 砂丘植物群落

1/1

分類	河辺植生域
基本分類コード	04
基本分類	砂丘植物群落
基本分類の定義	砂丘に特有な低木や草本が優占する植物群落。これらの種は混生することが多いため、原則として優占種で区分する。

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
4001	オカヒジキ群落	オカヒジキが優占する草本群落。群落全体の植被率は低い。砂丘の最前線に成立する。	041
4002	ハマハコベ群落	ハマハコベが優占する草本群落。北方の礫浜に出現する。	042
4003	エゾノコウボウムギ群落	エゾノコウボウムギが優占する群落。北海道に分布する。	043
4004	シロヨモギ群落	シロヨモギが優占あるいはハマニンニクやコウボウシバと混生する草本群落。原則として、シロヨモギの被度が非常に少ない場合(＋2または＋程度)を除いて、シロヨモギが出現する草本群落はシロヨモギ群落に区分する。冷温帯に分布する。	044
4005	コウボウムギ群落	コウボウムギが優占するか、あるいはハマニンニク・コウボウシバ・ケカモノハシ・シロヨモギなどと混生する草本群落。混生種の被度がコウボウムギの被度を上回らない場合はコウボウムギ群落に区分する。メマツヨイグサ・オオフトバムグラ・イヌイなどが優占あるいは混生する場合もある。	045
4006	オニシバ群落	オニシバが優占、あるいはコウボウムギ・ケカモノハシ・ハマニンニク・コウボウシバなどと混生する草本群落。混生種の被度がオニシバの被度を上回らない場合はオニシバ群落に区分する。	046
4007	ハマヒルガオ群落	ハマヒルガオが明らかに優占する草本群落。ハマニンニク・コウボウムギ・ハマエンドウ・コウボウシバを含まないか、その被度は非常に低い群落をハマヒルガオ群落とする。	047
4008	ハマエンドウ群落	ハマエンドウが明らかに優占する草本群落。ハマニンニク・コウボウムギ・ケカモノハシ・コウボウシバを含まないか、その被度は低い群落をハマエンドウ群落とする。	048
4009	コウボウシバ群落	コウボウシバが優占、あるいはヨシ・ヤマアワなどと混生する草本群落。ヨシ・ヤマアワなどと混生する場合は、見かけ上ヨシやヤマアワの草原に見える場合が多い。コウボウシバは人為的にかく乱を受けた箇所にも草本群落を形成するので、調査時に成立立地を確認する必要がある。人為的にかく乱跡地に成立したコウボウシバ群落はこの区分には含めない。	049
4010	ハマゴウ群落	ハマゴウが優占するほふく性の低木群落。チガヤ・カワラヨモギが優占する場合もある。	0410
4011	ハマナス群落	ハマナスが優占、あるいはハマニンニク・シロヨモギなどと混生するほふく性の低木群落。原則として、ハマナスの被度が非常に少ない場合(＋2または＋程度)を除いて、ハマナスが出現する草本群落はハマナス群落に区分する。	0411
4012	ハイネズ群集	ハイネズが優占するほふく性の低木群落。ハマナスが混生する場合もある。原則として、ハイネズの被度が非常に少ない場合(＋2または＋程度)を除いて、ハイネズが出現する草本群落はハイネズ群落に区分する。	0412
4013	マルバアカザ群落	マルバアカザが優占する草本群落。	0413
4014	ハマニンニク群落	ハマニンニクが明らかに優占する草本群落。ウンラン・ハマボウフウ・ハマヒルガオ・ハマエンドウ・コウボウシバなどが混生する場合もある。混生種の被度がハマニンニクの被度を上回らない場合はハマニンニク群落に区分する。	0414
4015	ケカモノハシ群落	ケカモノハシが明らかに優占する草本群落。ウンラン・ハマボウフウ・ハマヒルガオ・ハマニンニク・オニシバ・コウボウムギなどが混生する場合もある。混生種の被度がケカモノハシの被度を上回らない場合はケカモノハシ群落に区分する。	0415
4016	イソスミレ群落	イソスミレが明らかに優占する草本群落。	0416
4017	イソホウキギ群落	イソホウキギが優占する群落。	0417
4018	ツルナ群落	ツルナが優占する群落。	0418
4019	イヌイ群落	イヌイ(ヒライ)が優占する群落。	0419
4020	ハマベンケイソウ群落	ハマベンケイソウが優占する群落。	0420

# 植物群落の解説

<05> 1年生草本群落(1)

1/1

分類	河辺植生域
基本分類コード	05
基本分類	1年生草本群落
基本分類の定義	<p>双子葉植物、単子葉植物を問わず、1年生あるいは2年生草本が優占する群落。多年生草本をほとんど含まない。以下の点に留意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カナムグラ、アレチウリなどの1年生つる植物の下層にヤナギタデ、ミゾソバ、オオブタクサなどの1年生草本が生育している場合は、被度が非常に少ない場合を除いて、下層に生育する植物で群落区分を行う。下層に生育する種が1年生草本以外の種である場合はその種が該当する基本分類の群落として取り扱う。</li> <li>・耕作跡地については、「耕作放棄地も、放棄から数年以内で1年生草本が優占し、多年生草本をほとんど含まない群落が成立している場合」は、「水田」、「畑地」に含めるため十分留意する。</li> </ul>

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
5001	ミズアオイ群落	ミズアオイが優占する群落。休耕田や水田放棄地にみられる。コナギが優占する場合は、ウリカワコナギ群集に含める。	051
5002	タマガヤツリ群落	タマガヤツリまたはヌマガヤツリが優占あるいは混生する群落。	052
5003	カンエンガヤツリ群落	カンエンガヤツリが優占する群落。	053
5004	シロガヤツリ群落	シロガヤツリが優占する群落。	054
5005	ホシクサー マツバイ群落	ホシクサーとマツバイが優占あるいは混生する群落。	055
5006	コケオトギリヒメヒラテツキ群落	コケオトギリあるいはヒメヒラテツキが優占する群落。	056
5007	タカサブロウ群落	タカサブロウが優占する群落。	057
5008	ミゾソバ群落	ミゾソバが優占する群落。ヤナギタデ・オオイヌタデ・オオクサキビが混生する場合は、優占種の被度で区分する。流水縁に成立する。	058
5009	ヤナギタデ群落	ヤナギタデが優占する群落。ミゾソバ・オオイヌタデ・オオクサキビが混生する場合は、優占種の被度で区分する。流水縁に成立する。	059
5010	オオイヌタデ・オオクサキビ群落	オオイヌタデ・オオクサキビ・アメリカセンダングサ・ヌカキビ・ケイヌビエ・イヌビエ・タイヌビエ・クサネム・アメリカクサネム・ホウキギク・ヒロハホウキギクなど流水縁の好窒素性1年生草本が優占する群落。サデクサ・ホソバノウナギツカミ・アキノナギツカミ・ナガバノヤノネグサ・サナエタデ・ポントクタデ・シラカワタデ・オオケタデなどのタデ科植物や、コブナグサ・カワヂシャ・アメリカミズキンバイ・ヒエガエリ・ツリフネソウが優占する場合も含める。なお、ミゾソバ・ヤナギタデ・オオイヌタデ・オオクサキビの4種のいずれかが混生する場合は、ミゾソバのみあるいはヤナギタデのみが優占する場合はそれぞれ群落として区分し、その他は全てオオイヌタデ・オオクサキビ群落として取り扱う。	0510
5011	オナノミ群落	オナノミが優占する群落。分布は少ない。	0511
5012	オオオナノミ群落 *	外来種のオオオナノミ・ホソアオゲイトウが優占あるいは混生する群落。イガオナノミが優占する群落も含める。	0512
5013	コセンダングサ群落 *	外来種のコセンダングサ・シロノセンダングサ・センダングサが優占あるいは混生する群落。乾いた砂礫地に出現する。	0513
5014	メヒシパーエノコログサ群落	メヒシパーエノコログサ類・イヌタデ・ツユクサ・シロザなどの好窒素性の1年生草本が優占する群落。オオニシキソウ・ブタクサ・シロザ・アカザ・コアカザ・スベリヒユ・ニワホコリ・ハキダメギクが優占する場合も含める。やや乾性な立地に出現する。	0514
5015	ヒメムカシヨモギ・オオアレチノギク群落 *	外来種のヒメムカシヨモギ・オオアレチノギク・ヒメジョオン・コマツヨイグサが優占あるいは混生する群落。	0515
5016	オオブタクサ群落 *	外来種のオオブタクサが優占する群落。	0516
5017	ヤブヅラミ群落	ヤブヅラミが優占する群落。オヤブヅラミが優占する場合もこれに含める。	0517
5018	クソニンジン群落 *	外来種のクソニンジンが優占する群落。	0518
5019	カワランニンジン群落	カワランニンジンが優占する群落。	0519
5020	シロバナシナガワハギ群落 *	外来種のシロバナシナガワハギが優占する群落。乾いた礫地にみられる。	0520
5021	メリケムグラ群落 *	外来種のメリケムグラが優占する群落。	0521
5022	マムツヨイグサ・マルバヤハズソウ群落 *	マルバヤハズソウ、外来種のマムツヨイグサ・オオマムツヨイグサ・アレチマムツヨイグサが優占あるいは混生する群落。	0522
5023	オヒシパーアキメシバ群集	オヒシパーアキメシバ・ヤハズソウ・スズメガヤが優占あるいは混生する群落。人が集まったり、車が乗り入れるところなどに出現する。	0523

\* : 外来種が優占する植物群落

# 植物群落の解説

<05> 1年生草本群落(2)

1/1

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
5024	アレチウリ群落 *	外来種のアレチウリが優占するつる植物群落。アレチウリの下層にヤナギタデ、ミゾソバ、オオブタクサなどの1年生草本が生育している場合は、被度が非常に少ない場合を除いて、下層に生育する植物で群落区分を行う。下層に生育する種が1年生草本以外の種である場合はその種が該当する基本分類の群落として取り扱う。	0524
5025	カナムグラ群落	カナムグラが優占するつる植物群落。カナムグラの下層にヤナギタデ、ミゾソバ、オオブタクサなどの1年生草本が生育している場合は、被度が非常に少ない場合を除いて、下層に生育する植物で群落区分を行う。下層に生育する種が1年生草本以外の種である場合はその種が該当する基本分類の群落として取り扱う。	0525
5026	ツルマメ群落	ツルマメが優占するつる植物群落。ツルマメの下層にヤナギタデ、ミゾソバ、オオブタクサなどの1年生草本が生育している場合は、被度が非常に少ない場合を除いて、下層に生育する植物で群落区分を行う。下層に生育する種が1年生草本以外の種である場合はその種が該当する基本分類の群落として取り扱う。	0526
5027	ヤブマメ群落	ヤブマメが優占するつる植物群落。ヤブマメの下層にヤナギタデ、ミゾソバ、オオブタクサなどの1年生草本が生育している場合は、被度が非常に少ない場合を除いて、下層に生育する植物で群落区分を行う。下層に生育する種が1年生草本以外の種である場合はその種が該当する基本分類の群落として取り扱う。	0527
5028	ゴキヅル群落	ゴキヅルが優占するつる植物群落。ゴキヅルの下層にヤナギタデ、ミゾソバ、オオブタクサなどの1年生草本が生育している場合は、被度が非常に少ない場合を除いて、下層に生育する植物で群落区分を行う。下層に生育する種が1年生草本以外の種である場合はその種が該当する基本分類の群落として取り扱う。	0528
5029	ミゾコウジュ群落	ミゾコウジュが優占する群落。トキワハゼなどが混生する場合もある。	0529
5030	オオフトバムグラ群落 *	外来種のおオフトバムグラが優占する群落。	0530
5031	カワラアカザ群落	カワラアカザが優占する群落。	0531
5032	コメツブツメクサ群落 *	外来種のコメツブツメクサが優占する群落。コバンソウ・ナギナタガヤなどが混生する。	0532
5033	ヒメコバンソウ・ナギナタガヤ群落 *	外来種のヒメコバンソウ・ナギナタガヤが優占あるいは混生する群落。チガヤ・キキョウソウなども混生する。	0533
5034	セイヨウカラシナ群落 *	外来種のセイヨウカラシナあるいはヤエムグラ・セイヨウアブラナが優占する群落。春季に出現する。	0534
5035	ケアリタソウ群落 *	外来種のケアリタソウが優占する群落。	0535
5036	ホシアサガオ群落 *	外来種のホシアサガオが優占するつる植物群落。	0536
5037	ヒメクグ群落	ヒメクグが優占あるいは混生し、小型の1年生草本が混生する群落。コウガイゼキショウ・イガガヤツリ・アゼガヤツリ・アゼテンツキ・クロテンツキ・ツクシテンツキ・クグテンツキ・コゴメガヤツリなどが生育する。不安定な河床部において、水際の富栄養化した場所にみられる。	0537
5038	ウリカワーコナギ群集	コナギが優占し、イボクサ、タウコギ、イヌホタルイ・ホタルイ等の1年生草本が混生する群落。ミズアオイが優占する場合はミズアオイ群落に含める。	0538
5039	アゼトウガラシ群集	アゼトウガラシのほか、アメリカアゼナ・アゼナ・スズメトウガラシ・カヤツリグサなど小型の1年生草本で識別される群落。渇水時の流水縁等に出現し、河川の泥湿地に成立する群落。	0539

\* : 外来種が優占する植物群落

# 植物群落の解説

<06> 多年生広葉草本群落(1)

1/1

分類	河辺植生域
基本分類コード	06
基本分類	多年生広葉草本群落
基本分類の定義	双子葉植物の多年生草本および単子葉植物のうち「その他の単子葉植物群落」に区分されない多年生草本が優占する群落。シダ植物のクサソテツ・コウヤワラビ等が優占する群落はこのカテゴリーに含める。以下の点に留意する。 ・見かけ上つる植物が優占する群落でも、下層にヨモギ・メドハギ・セイトカアワダチソウなどの多年生広葉植物が生育している場合(被度・群度が1・1以上)は、この基本分類として取り扱う。 ・踏圧による影響が明らかなカゼクサーオオバコ群集は優占種の種類に関わらず、この基本分類に含める。

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
6001	オニシモツケ群落	オニシモツケが優占する群落。オオヨモギ・クサヨシなどと混生する。北海道のチシマアザミが優占する群落を含む。	061
6002	オオヨモギ・オオイタドリ群落	オオヨモギあるいはオオイタドリが優占する群落。エゾオオヨモギ・アキタブキ・ウラジロタデ・アカソ・エゾイラクサ・ヒメスイバが混生あるいは優占する場合もある。	062
6003	カワラヨモギ・カワラハハコ群落	カワラケツメイ・カワラヨモギ・カワラサイコ・カワラハハコ・カワラナデシコ・カワラニガナ・カワラマツバ・カワラノギク・カラメドハギが優占あるいは混生する群落。これらの種群が出現する群落は、被度が非常に少ない場合(+・2または+程度)を除いて、カワラヨモギ・カワラハハコ群落として区分する。メマツヨイグサ・メドハギが優占する場合もある。カワラケツメイ・カワラサイコ・カワラノギクを含む3つのタイプと、これらの種を含まないタイプに区分される。①カワラケツメイが出現するグループ、②カワラサイコが出現するグループ、③これら2種がなくカワラヨモギがカワラハハコが優占するグループ、④カワラノギクが出現するグループに分けられる。	063
6004	ヨモギ・メドハギ群落	ヨモギとメドハギが優占あるいは混生する群落。ヨメナ・ヤブジラミ・ミヤコグサ・スギナ・ハイメドハギが優占する場合もある。メドハギ・メマツヨイグサ・ヤハズソウ・コセンダングサといった礫地の種群を含む低水敷タイプと、スギナ・クサヨシ・カモジグサ・ヤハズエンドウ・ミゾイチゴツナギといった路傍性の種群を含む高水敷タイプに区分される。見かけ上、クズ・カナムグラ・ヤブガラシ等のつる植物に覆われている場合もあるが、下層にヨモギ・メドハギ群落の識別種が被度1以上で生育している場合は、ヨモギ・メドハギ群落に含める。	064
6005	イタドリ群落	イタドリあるいはケイタドリが優占する群落。上流部では砂礫地に群落を形成するが、堤防上にも成立する。	065
6006	カラムシ群落	カラムシあるいはナンバンカラムシ(外来種)が優占する群落。堤防上にみられる。	066
6007	アレチハナガサ群落*	外来種のアレチハナガサが優占する群落。	067
6008	セイトカアワダチソウ群落*	外来種のセイトカアワダチソウが優占する群落。見かけ上、クズ・カナムグラ・ヤブガラシ等のつる植物に覆われている場合もあるが、下層にセイトカアワダチソウ種が被度1以上で生育している場合は、セイトカアワダチソウ群落に含める。	068
6009	クサソテツ群落	クサソテツあるいはコウヤワラビが優占する群落。やや湿性な立地に成立する。	069
6010	ヤブガラシ群落	ヤブガラシが優占する群落。ノブドウが優占する場合も含める。やや乾性な立地に成立する。なお、下層に生育するヨモギ・メドハギ・セイトカアワダチソウなどの被度・群度が1・1以上の場合は、下層に生育する種で群落区分を行う。	0610
6011	ムラサキウマゴヤシ群落*	外来種のムラサキウマゴヤシが優占する群落。	0611
6012	ギンギシ群落	ギンギシ・スイバや外来種のエゾノギンギシ・ナガバギンギシ・アレチギンギシが優占あるいは混生する群落。ハルシヤギク・ヤナギハナガサが優占する場合も含める。	0612
6013	タコノアシ群落	タコノアシが優占する群落。	0613
6014	カゼクサーオオバコ群集	オオバコ・シロツメクサ(外来種)・ギョウギシバ・チカラシバ・ムラサキツメクサ(外来種)・クサイ・カゼクサ・ヘラオオバコ(外来種)・ネズミノオ・スズメノカタビラが優占あるいは混生する群落。成立地がグラウンドや道路などの場合は、施設地等に含める。	0614
6015	オオハンゴンソウ群落	オオハンゴンソウが優占する群落。北海道および東北地方に分布。	0615
6016	ヤブマオ群落	ヤブマオが優占する群落。主として堤防上にみられる。	0616
6017	オオアワダチソウ群落*	外来種のオオアワダチソウが優占し、カモガヤ・ヘラオオバコが混生する群落。サボンソウ・エゾクガイソウが優占する場合もある。北海道および東北地方に分布。	0617
6018	ヤナギラン群落	ヤナギランが優占する群落。ヨツバヒヨドリ・オオアワダチソウなどが混生する。	0618
6019	ソクズ群落	ソクズが優占する群落。	0619
6020	イヌクイモ・キクイモ群落*	外来種のキクイモあるいはイヌクイモが優占する群落。	0620
6021	オランダガラシ群落*	外来種のオランダガラシが優占する群落。	0621
6022	メノマンネングサ群落	メノマンネングサが優占する群落。	0622

\*: 外来種が優占する植物群落

# 植物群落の解説

<06> 多年生広葉草本群落 (2)

1/1

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
6023	オトコヨモギ群落	オトコヨモギまたはコマツナギが優占・混生する群落。	0623
6024	キダチコンギク群落*	外来種のキダチコンギクが優占する群落	0624
6025	ツメレンゲ群落	ツメレンゲが優占する群落。日当たりの良い岩場や屋根の上などに着生する植物。ツメレンゲと同じベンケイソウ科で同様の生育立地を示すキリンソウやツルマンネングサが優占する場合もこれに含める。	0625
6026	キショウブ群落*	外来種のキショウブが優占する群落。	0626
6027	リュウキンカ群落	リュウキンカが優占する群落。溪流辺に成立する。	0627
6028	アワモリショウマ群落	アワモリショウマが優占する群落。近畿地方以西の溪流辺にみられる。	0628
6029	ヒュウガギボウシ-イワタバコ群落	ヒュウガギボウシまたはイワタバコが優占する群落。四国南西部と宮崎県の溪流辺にみられる。	0629
6030	オオイワヒトデ群落	シダ植物のオオイワヒトデが優占する群落。四国、九州の崖地にみられる。	0630
6031	イワギボウシ群落	イワギボウシが優占する群落。溪流辺に出現し、ウラハグサ・ヤシャゼンマイ・ダイヤモンドソウなど溪流性の植物が混生する。	0631
6032	イワヒバ群落	イワヒバが優占する群落。溪流辺や岸壁に出現する。	0632
6033	ダイヤモンドソウ群落	ダイヤモンドソウが優占する群落。溪流辺に出現する。	0633
6034	コンロンソウ群落	コンロンソウが優占する群落。溪流辺に出現する。	0634
6035	ホソバイラクサ群落	ホソバイラクサが優占する群落	0635
6036	シャク群落	シャクが優占する群落	0636
6037	クワレシダ群落	クワレシダが優占する群落	0637
6038	タニガワコンギク群落	タニガワコンギクが優占あるいは混生する群落。溪流辺に成立する。	0638
6039	コモウセンゴケ群落	コモウセンゴケが優占あるいは混生する群落。溪流辺等に成立する。	0639

\* : 外来種が優占する植物群落



# 植物群落の解説

## <07> 単子葉草本群落(ヨシ群落)

1/1

分類	河辺植生域
基本分類コード	07
基本分類	単子葉草本群落(ヨシ群落)
基本分類の定義	<p>単子葉草本群落は単子葉植物の多年生草本のうち、イネ科、イグサ科、カヤツリグサ科、ミクリ科、ガマ科が優占する群落である。この基本分類は、ヨシまたはセイタカヨシが優占する群落。北方ではイワノガリヤスーヨシ群集が特徴的に出現する。なお、過湿な立地に生育するサクラタデ・シロネ・サワオグルマといった双子葉植物や、ミズドクサ・イヌドクサといったシダ植物の多年生草本が優占あるいは混生する群落も含める。以下の点に留意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見かけ上つる植物が優占する群落でも下層にヨシ・セイタカヨシが生育している場合(被度・群度が1・1以上)は、この基本分類として取り扱う。</li> </ul>

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
7001	ヨシ群落	ヨシが優占する群落。主に下流域に分布する。サクラタデ・シロネ・サワオグルマ・ハンゲシヨウといった双子葉植物や、ミズドクサ・イヌドクサといったシダ植物の多年生草本が優占あるいは混生する群落は、ヨシ群落と同等の生育立地に成立する群落と考えられるため、これらの群落もヨシ群落に含める。	071
7002	イワノガリヤスーヨシ群集	ヨシに加え、イワノガリヤスーを特徴的に含む群落。北海道に多い。	072
7003	セイタカヨシ群落	セイタカヨシ(セイコノヨシ)が優占する群落。中部地方以西に分布する。	073

# 植物群落の解説

<08> 単子葉草本群落 (ツルヨシ群落)

1/1

分類	河辺植生域
基本分類コード	08
基本分類	単子葉草本群落 (ツルヨシ群落)
基本分類の定義	単子葉植物の多年生草本のうち、ツルヨシが優占する群落。以下の点に留意する。 ・見かけ上つる植物が優占する群落でも下層にツルヨシなどが生育している場合 (被度・群度が1・1以上)は、この基本分類として取り扱う。

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
8001	ツルヨシ群集	ツルヨシが優占する群落。主に上～中流域の水際に分布する。	081

## 植物群落の解説

<09> 単子葉草本群落(オギ群落)

1/1

分類	河辺植生域
基本分類コード	09
基本分類	単子葉草本群落(オギ群落)
基本分類の定義	単子葉植物の多年生草本のうち、オギが優占する群落。以下の点に留意する。 ・見かけ上つる植物が優占する群落でも下層にオギなどが生育している場合(被度・群度が1・1以上)は、この基本分類として取り扱う。

群落区分コード	群落名	概 要	群落表示コード
9001	オギ群落	オギが優占する群落。中流域に広い面積を占有する。湿性に成立する自然草原のハナムグラーオギ群集と乾性地のオギ群集を含む。	091

# 植物群落の解説

<10> 単子葉草本群落 (その他の単子葉草本群落)(1)

1/1

分類	河辺植生域
基本分類コード	10
基本分類	単子葉草本群落(その他の単子葉草本群落)
基本分類の定義	<p>単子葉植物の多年生草本のうち、ヨシ・セイタカヨシ・ツルヨシ・オギを除いたイネ科・イグサ科・カヤツリグサ科・ミクリ科・ガマ科が優占する群落。以下の点に留意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見かけ上つる植物が優占する群落でも下層にススキ・クサヨシなどが生育している場合(被度・群度が1・1以上)は、この基本分類として取り扱う。</li> <li>・外来牧草が優占する群落は、優占種が多年生草本、1年生草本に関わらず、明らかに植栽でない場合はこの基本分類として取り扱う。明らかに植栽である場合は、「人工草地」の基本分類に含める。</li> </ul>

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
10001	ウキヤガラマコモ群集	ウキヤガラとマコモのいずれかが優占あるいは混生する群落。マツカサスギが優占する群落もこれに含める。下流域に生育する。	101
10002	サンカクイコガマ群集	サンカクイとコガマのいずれかが優占あるいは混生する群落。マツバイが優占する群落もこれに含める。	102
10003	カンガレイ群落	カンガレイが優占する群落。	103
10004	ヒメガマ群落	ヒメガマが優占する群落。	104
10005	ガマ群落	ガマが優占する群落。	105
10006	フトイ群落	フトイが優占する群落。ミクリと混生する場合もあるが、優占種の被度で区分する。	106
10007	ミクリ群落	ミクリが優占する群落。	107
10008	ナガエミクリ群落	ナガエミクリが優占する群落。	108
10009	エゾオオヤマハコベークサヨシ群落	エゾオオヤマハコベを特徴的に含むクサヨシが優占する群落。北海道にみられる。	109
10010	セリークサヨシ群集	クサヨシとセリのいずれかが優占あるいは混生する群落。セリが優占する場合は、多年生草本群落に含めないよう注意する。見かけ上、ヨシが優占する場合もあるが、セリークサヨシの被度が非常に少ない場合(+・2または+程度)を除いて、セリークサヨシ群集として区分する。	1010
10011	アシカキ群落	アシカキが優占する群落。	1011
10012	ヒライーカモノハシ群集	ヒライとカモノハシのいずれかが優占あるいは混生する群落。見かけ上、ヨシが優占する場合もあるが、ヒライ・カモノハシの被度が非常に少ない場合(+・2または+程度)を除いて、ヒライーカモノハシ群集として区分する。海岸付近に出現する。	1012
10013	カモノハシ群落	カモノハシが優占する群落。ヒライを含まない。見かけ上、ヨシが優占する場合もあるが、カモノハシの被度が非常に少ない場合(+・2または+程度)を除いて、カモノハシ群落として区分する。	1013
10014	チゴザサーアゼスゲ群集	チゴザサあるいはアゼスゲが優占する群落。	1014
10015	オニナルコスゲ群落	オニナルコスゲが優占する群落。見かけ上、ヨシが優占する場合もあるが、オニナルコスゲの被度が非常に少ない場合(+・2または+程度)を除いて、オニナルコスゲ群落として区分する。	1015
10016	アカンカサスゲ群落	アカンカサスゲが優占する群落。北方に分布する。	1016
10017	アキカサスゲ群落	アキカサスゲが優占する群落。暖地に分布する。	1017
10018	カサスゲ群落	カサスゲが優占する群落。見かけ上、ヨシが優占する場合もあるが、カサスゲの被度が非常に少ない場合(+・2または+程度)を除いて、カサスゲ群落として区分する。	1018
10019	ダンチク群落	ダンチクが優占する群落。暖地の海岸付近にみられる。	1019
10020	キシウズメノヒエ群落*	外来種のキシウズメノヒエが優占する群落。チクゴズメノヒエが優占する場合も含める。	1020
10021	イ群落	イが優占、あるいはアゼナルコ・メリケンガヤツリなどと混生する群落。	1021
10022	ヤマアワ群落	ヤマアワが優占する群落。	1022
10023	ウラハグサ群落	ウラハグサ・イワギボウシ・ゲジゲジシダ・ホラシノブなど岩上に特徴的な種により区分される群落。溪岸に生ずる。	1023
10024	イタチガヤ群落	イタチガヤが優占する群落。下流域の崖地、溪流辺に生育する。近畿地方以西に分布。	1024
10025	ホツガヤ群落	ホツガヤが優占する群落。上流の不安定な砂礫地に成立する。	1025
10026	ウシノシッペイ群落	ウシノシッペイが優占する群落。	1026
10027	コバノウシノシッペイ群落	コバノウシノシッペイが優占する群落。	1027

\*: 外来種が優占する植物群落

植物群落の解説

<10> 単子葉草本群落 (その他の単子葉草本群落) (2)

1/1

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
10028	セイバンモロコシ群落 *	外来種のセイバンモロコシが優占する群落。品種のヒメモロコシが優占する場合もこれに含める。	1028
10029	メリケンカルカヤ群落 *	外来種のメリケンカルカヤが優占する群落。	1029
10030	スズメノヒエ群落	スズメノヒエが優占する群落。高水敷の路傍やグラウンドにみられる。	1030
10031	タチスズメノヒエ群落 *	外来種のタチスズメノヒエが優占する群落。	1031
10032	シマスズメノヒエ群落 *	外来種のシマスズメノヒエが優占する群落。シロツメクサ・オオバコといった踏み跡に特徴的な種が混生する場合もあるが、それらの種の被度がシマスズメノヒエよりも大きい場合はカゼクサ・オオバコ群集に含める。	1032
10033	カモガヤ・オオアワガエリ群落 *	外来種のカモガヤ・オオアワガエリ・ナガハグサ・コヌカグサ・ヘラオオバコ・シロツメクサ・ムラサキツメクサが優占あるいは混生する群落。北海道に多く、牧草地から逸出した牧草起源のイネ科草本等で構成されているのが特徴である。	1033
10034	ネズミギ群落 *	外来種のネズミギあるいはコバンソウが優占する群落。ギンギン類を欠くか、あってもその被度は非常に低いことにより、ギンギン群落から区別される。	1034
10035	イヌムギ群落 *	外来種のイヌムギが優占する群落。	1035
10036	ホソムギ群落 *	外来種のホソムギが優占する群落。	1036
10037	オニウシノケサ群落 *	外来種のオニウシノケサあるいはヒロハウシノケサ・オオウシノケサが優占する群落。春季に出現するハルガヤ群落もこの群落に含める。	1037
10038	シナダレスズメガヤ群落 *	外来種のシナダレスズメガヤが優占する群落。	1038
10039	シバ群落 *	外来種のシバあるいはコウライシバ・コウシュンシバが優占する群落。グラウンドなどのように明らかに植栽起源である場合は施設地等に含める。	1039
10040	ノハナショウブ・ススキ群集	ススキが優占するが、ノハナショウブ・エゾリンドウ・ミズギク・タチギボウシ・ヒメシダ・エゾミソハギなど、湿地性の種群によりトダシバ・ススキ群落と区分される群集。北方に分布。	1040
10041	ススキ群落	ススキが優占する群落。トダシバ・メガルカヤ・オガルカヤが優占する場合もこの群落に含める。	1041
10042	チガヤ群落	チガヤあるいはフシゲチガヤが優占する群落。ススキ・トダシバと混生する場合もあるが、優占種の被度で区分する。メドハギ・ヒメジョオン・シロツメクサ・キンエノコロ・チドメグサ・オヘビイチゴなど路傍性の種群を多く含む。	1042
10043	ヒメミクリ群落	ヒメミクリが優占する群落。上流域に生育する。	1043
10044	ヤマトミクリ群落	ヤマトミクリが優占する群落。関東以西の下流域に分布。	1044
10045	ヌマハリイ群落	ヌマハリイが優占する群落。	1045
10046	ハイキビ群落	ハイキビが優占する群落。四国・九州に分布。	1046
10047	オオカサスゲ群落	オオカサスゲが優占する群落。冷温帯に分布。	1047
10048	ピロードスゲ群落	ピロードスゲが優占する群落。	1048
10049	アメリカスズメノヒエ群落 *	外来種のアメリカスズメノヒエが優占する群落。	1049
10050	トキワススキ群落	トキワススキが優占する群落。暖地に分布。	1050
10051	タヌキラン群落	タヌキランが優占する群落。溪流辺に成立する。	1051
10052	ヒメレンゲ・ナルコスゲ群落	ヒメレンゲあるいはナルコスゲで識別される群落。溪流の岩上に成立する。	1052
10053	セキショウ群落	セキショウが優占する群落。溪流の岩上に成立する。	1053
10054	フサナキリスゲ群落	フサナキリスゲが優占する群落。溪流辺に成立する。	1054
10055	エゾノサヤヌカグサ群落	エゾノサヤヌカグサあるいはサヤヌカグサが優占する群落。	1055
10056	ヤマメスゲ群集	ヤマメスゲが優占する群落。	1056
10057	ヤマアゼスゲ群落	ヤマアゼスゲが優占する群落。	1057
10058	ウスイロスゲ群落	ウスイロスゲが優占する群落。	1058
10059	ワセオバナ群落	ワセオバナが優占する群落。	1059

\* : 外来種が優占する植物群落

## 植物群落の解説

<10> 単子葉草本群落 (その他の単子葉草本群落)(3)

1/1

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
10060	ジュズダマ群落	ジュズダマが優占する群落。	1060
10061	オオフトイ群落 *	外来種のオオフトイが優占する群落。	1061
10062	クロアブラガヤーツルアブラガヤ群落	クロアブラガヤまたはツルアブラガヤが優占する群落。北海道、東北に分布する。	1062
10066	ヤマイ群落	ヤマイが優占する群落。	1066
10067	シュロガヤツリ群落 *	外来種のシュロガヤツリが優占する群落。	1067
10068	ハマスゲ群落	ハマスゲが優占する群落。	1068

\* : 外来種が優占する植物群落

# 植物群落の解説

## <11> ヤナギ低木林

1/1

分類	河辺植生域
基本分類コード	11
基本分類	ヤナギ低木林
基本分類の定義	ヤナギ類が優占する木本群落。調査時の群落高が4m未満を低木林、4m以上を高木林とする。低木林は低木のヤナギ類の優占群落とする。

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
11001	イヌコリヤナギ群集	イヌコリヤナギが優占する群落。河川中流～下流域の砂泥堆積地に成立する。	111
11002	ネコヤナギ群集	ネコヤナギが優占する群落。河川上流域の露岩地や砂礫堆積地に成立する。	112
11003	コリヤナギ群落	コリヤナギ(逸出種)が優占する群落。	113

植物群落の解説

<12> ヤナギ高木林

分類	河辺植生域
基本分類コード	12
基本分類	ヤナギ高木林
基本分類の定義	ヤナギ類が優占する木本群落。調査時の群落高が4m未満の群落を低木林として区分する。

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
12001	オオバヤナギードロノキ群集	ドロノキとオオバヤナギのいずれかが優占あるいは混生する群落。中部地方以北に分布する。本州では河川源流部、北海道では低海拔の氾濫原にも成立する。	121
12002	オオバヤナギードロノキ群集(低木林)	群落高4m未満のオオバヤナギードロノキ群集。	122
12003	エゾノキヌヤナギーオノエヤナギ群集	エゾノキヌヤナギ、オノエヤナギ、エゾヤナギのいずれかが優占あるいは混生する群落。ただし、3種のうち、オノエヤナギのみ出現する場合、北海道では本群集とし、本州以南ではオノエヤナギ群落とする。東北以北に分布する。	123
12004	エゾノキヌヤナギーオノエヤナギ群集(低木林)	群落高4m未満のエゾノキヌヤナギーオノエヤナギ群集。	124
12005	タチヤナギ群集	タチヤナギが優占する群落。河川下流域の砂泥堆積地に成立する。	125
12006	タチヤナギ群集(低木林)	群落高4m未満のタチヤナギ群集。	126
12007	ジャヤナギーアカメヤナギ群集	ジャヤナギとアカメヤナギのいずれかが優占あるいは混生する群落。河川中流～下流域の砂泥堆積地に成立する。	127
12008	ジャヤナギーアカメヤナギ群集(低木林)	群落高4m未満のジャヤナギーアカメヤナギ群集。	128
12009	シロヤナギ群集	シロヤナギあるいはミチノクシロヤナギが優占する群落。主に、日本海側に分布する。河川中流域の砂礫堆積地に成立する。	129
12010	シロヤナギ群集(低木林)	群落高4m未満のシロヤナギ群集。	1210
12011	コゴメヤナギ群集	コゴメヤナギが優占するヤナギ群落。関東～中部地方に分布する。河川中流域の砂礫堆積地に成立する。	1211
12012	コゴメヤナギ群集(低木林)	群落高4m未満のコゴメヤナギ群集。	1212
12013	エゾノカワヤナギ群落	エゾノカワヤナギが優占する群落。北海道に分布する。	1213
12014	エゾノカワヤナギ群落(低木林)	群落高4m未満のエゾノカワヤナギ群落。	1214
12015	オノエヤナギ群落	オノエヤナギが優占する群落。エゾノキヌヤナギ、オノエヤナギ、エゾヤナギのうち、オノエヤナギのみ出現する場合、北海道ではエゾノキヌヤナギーオノエヤナギ群集とし、本州以南では本群落とする。	1215
12016	オノエヤナギ群落(低木林)	群落高4m未満のオノエヤナギ群落。	1216
12017	カワヤナギ群落	カワヤナギが優占する群落。	1217
12018	カワヤナギ群落(低木林)	群落高4m未満のカワヤナギ群落。	1218
12019	オオタチヤナギ群落	オオタチヤナギが優占する群落。九州地方に多い。	1219
12020	オオタチヤナギ群落(低木林)	群落高4m未満のオオタチヤナギ群落。	1220
12021	ヤマナラシ群落	ヤマナラシが優占する群落。	1221
12022	ヤマナラシ群落(低木林)	群落高4m未満のヤマナラシ群落。	1222
12023	ケショウヤナギ群落	ケショウヤナギが優占する群落。中部地方と北海道に分布する。	1223
12024	ケショウヤナギ群落(低木林)	群落高4m未満のケショウヤナギ群落。	1224
12025	ヨシノヤナギ群落	ヨシノヤナギが優占する群落。四国地方に多い。	1225



## 植物群落の解説

<12> ヤナギ高木林

2/2

群落区分 コード	群落名	概 要	群落表示 コード
12026	ヨシノヤナギ群落 (低木林)	群落高4m未満のヨシノヤナギ群落。	1226
12027	エゾノバッコヤナギ 群落	エゾノバッコヤナギが優占する群落。北海道に分布する。	1227
12028	エゾノバッコヤナギ 群落(低木林)	群落高4m未満のエゾノバッコヤナギ群落。	1228
12029	コウライヤナギ群落	コウライヤナギが優占する群落。	1229
12030	コウライヤナギ群落 (低木林)	群落高4m未満のコウライヤナギ群落。	1230

# 植物群落の解説

## <13> その他の低木林

1/2

分類	河辺植生域
基本分類コード	13
基本分類	その他の低木林
基本分類の定義	ヤナギ類以外の低木(調査時の群落高4m未満)が優占する群落。低木の優占群落とする。なお、見かけ上つる性木本類でも下層にオギ・ススキ・ササ類などの多年生植物が生育している場合(被度・群度が1・1以上)は、つる性木本類の群落として区分せず、下層に優占するそれぞれの種が該当する基本分類の群落として取り扱う。以下の点に留意する。 ・上層にコナラ・クヌギ・クリ・アラカシ・スダジイ・ケヤキなどが優占あるいは混生する場合でも、下層にメダケが優占する場合は、メダケ群集として取り扱う。

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
13001	ホザキシモツケ群落	ホザキシモツケが優占する群落。	131
13002	ヤチヤナギ群落	ヤチヤナギが優占する群落。過湿な後背湿地に成立する。	132
13003	サツキ群落	サツキが優占する群落。溪流の岩上に特有な群落。	133
13004	ユキヤナギ群落	ユキヤナギが優占する群落。溪流の岩上に特有な植物群落。	134
13005	アキグミ群落	アキグミが優占する群落。カワラヨモギ、ドクウツギ、オトコヨモギ、コマツナギ、カワラハハコなどの乾燥した礫河原に生育する種によって区分される。	135
13006	クコ群落	クコが優占する群落。	136
13007	イタチハギ群落 *	イタチハギ(クロバナエンジュ)が優占する群落。	137
-			-
13009	メダケ群集	メダケが優占する群落。なお、上層にコナラ・クヌギ・クリ・アラカシ・スダジイ・ケヤキなどが優占あるいは混生する場合でも、下層にメダケが優占する場合はメダケ群集として取り扱う。	139
13010	クマイザサ群落	クマイザサが優占する群落。日本海側に分布する。	1310
13011	アズマザサ群落	アズマザサが優占する群落。中部地方以北に分布する。	1311
13012	アズマネザサ群落	アズマネザサが優占する群落。関東～中部地方に分布する。	1312
13013	ネザサ群落	ネザサ(ケネザサを含む)が優占する群落。中部地方以西に分布する。	1313
13014	オカメザサ群落	オカメザサ(栽培種)が優占する群落。出現種数は少ない。	1314
13015	クズ群落	クズの優占する群落。見かけ上クズが優占しても下層にオギ・ススキ・ササ類などの多年生植物が生育している場合(被度・群度が1・1以上)は、下層に優占するそれぞれの種が該当する基本分類の群落として取り扱う。	1315
13016	ノイバラ群落	ノイバラの優占する群落。	1316
13017	テリハノイバラ群落	テリハノイバラの優占する群落。ノイバラ群落と比べるとより乾燥した砂礫地に成立する。	1317
13018	チマキザサ群落	チマキザサが優占する群落。日本海側に分布する。	1318
13019	ドクウツギ群落	ドクウツギが優占する群落。近畿地方以北に分布する。乾燥した礫河原に成立する。	1319
13020	ツクシイバラ群落	ツクシイバラが優占する群落。九州地方に分布する。	1320
13021	ミヤマカワラハンノキ群落	ミヤマカワラハンノキが優占する群落。ウド・コシジシモツケソウなどによって区分される。中部地方以北の日本海側に分布する。	1321
13022	ヒメヤシャブシ群落	ヒメヤシャブシ・タニウツギのいずれかが優占あるいは混生する群落。日本海側に分布する。	1322

## 植物群落の解説

<13> その他の低木林

2/2

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
13023	ニワトコ群落	ニワトコあるいはエゾニワトコ・オオニワトコが優占する群落。	1323
13024	ウツギ群落	ウツギが優占する群落。	1324
13025	ハドノキ群落	ハドノキが優占する群落。主に近畿地方以西に分布する。	1325
13026	タニワタリノキ群落	タニワタリノキが優占する群落。九州南部に分布する。	1326
13027	スズタケ群落	スズタケが優占する群落。太平洋側に分布する。	1327
13028	クリオザサ群落	クリオザサが優占する群落。	1328
13029	フジ群落	フジが優占する群落。	1329
13030	ヤマハギ群落	ヤマハギが優占する群落。エゾヤマハギが優占する場合もこれに含める	1330
13031	キシツツジ群落	キシツツジが優占する群落。中国地方以西に分布する。溪流辺の砂礫堆積地や露岩地に成立する。	1331
13032	イブキシモツケ群落	イブキシモツケが優占する群落。岩隙草本植物群落。近畿地方以西に分布する。	1332
13033	ミヤコザサ群落	ミヤコザサが優占する群落。太平洋側に分布する。	1333
13034	ホザキナナカマド群落	ホザキナナカマドが優占する群落。青森県と北海道に分布する。	1334

\* : 外来種が優占する植物群落

# 植物群落の解説

<14> 落葉広葉樹林 (1)

1/1

分類	河辺植生域
基本分類コード	14
基本分類	落葉広葉樹林
基本分類の定義	落葉広葉樹が優占する群落。調査時の群落高が4m未満の群落を低木林として区分する。

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
14001	エゾノヨロイグサ-カシワ群集	カシワが優占する群落。ミズナラが混生、または下層にササ類が密生することが多い。北海道に分布する。	141
14002	エゾノヨロイグサ-カシワ群集(低木林)	群落高4m未満のエゾノヨロイグサ-カシワ群集。	142
14003	オヒョウ-カツラ群集	カツラとオヒョウが混生し優占する群落。北海道に分布する。渓谷沿いの崖錐斜面や山地斜面に成立する。	143
14004	オヒョウ-カツラ群集	群落高4m未満のオヒョウ-カツラ群集。	144
14005	ヤチダモ-ハルニレ群集	ハルニレとヤチダモのいずれかが優占あるいは混生する群落。両者は混生することが少なく、ハルニレは渓谷などの排水良好地、ヤチダモは低地の排水不良地を主な生育域としている。	145
14006	ヤチダモ-ハルニレ群集(低木林)	群落高4m未満のヤチダモ-ハルニレ群集。	146
14007	サワグルミ群落	優占種であるサワグルミを区分種とする群落。渓谷沿いの崖錐斜面や山地斜面に成立する。	147
14008	サワグルミ群落(低木林)	群落高4m未満のサワグルミ群落。	148
14009	ケヤキ群落	優占種であるケヤキを区分種とする群落。渓谷や崖線、崖錐などの排水良好地に成立する。	149
14010	ケヤキ群落(低木林)	群落高4m未満のケヤキ群落。	1410
14011	ミズナラ群落	ミズナラとイタヤカエデ類のいずれかが優占あるいは混生する群落。ケヤマハンノキ、シラカンバ、ハルニレ、シナノキ、ヤチダモが混生することがある。	1411
14012	ミズナラ群落(低木林)	群落高4m未満のミズナラ群落。	1412
14013	コナラ群落	コナラとクリのいずれかが優占あるいは混生する群落。アカマツ、アベマキ、クヌギなどと混生することが多く、それらの群落との区分が難しい林分もある。ただし、コナラ群落は地域に応じて固有の種群をもつことが多く、表操作によって、群集同定の精度を向上させることができる。	1413
14014	コナラ群落(低木林)	群落高4m未満のコナラ群落。	1414
14015	アベマキ群落	アベマキが優占する群落。コナラ、クヌギ、アカマツと混生することが多い。中部地方以西に分布する。	1415
14016	アベマキ群落(低木林)	群落高4m未満のアベマキ群落。	1416
14017	クヌギ群落	クヌギが優占する群落。コナラ、アカマツ、アベマキと混生することが多い。	1417
14018	クヌギ群落(低木林)	群落高4m未満のクヌギ群落。	1418

植物群落の解説

<14> 落葉広葉樹林 (2)

1/1

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
14019	ナガバツメクサーハンノキ群落	ハンノキが優占する群落。カブスゲ・サワギキョウ・ナガバツメクサー・ヒメシロネなどによって区分される。北海道に分布する。過湿地に成立する。	1419
14020	ナガバツメクサーハンノキ群落(低木林)	群落高4m未満のナガバツメクサーハンノキ群落。	1420
14021	ハンノキ群落	ハンノキが優占する群落。過湿地に成立する。	1421
14022	ハンノキ群落(低木林)	群落高4m未満のハンノキ群落。	1422
14023	アキニレ群落	アキニレが優占する群落。中部地方以西に分布する。	1423
14024	アキニレ群落(低木林)	群落高4m未満のアキニレ群落。	1424
14025	カワラハンノキ群落	カワラハンノキが優占する群落。ユキヤナギやキシツツジが混生することがある。近畿地方以西に分布する。溪流辺に成立する。	1425
14026	カワラハンノキ群落(低木林)	群落高4m未満のカワラハンノキ群落。	1426
14027	ヤシャブシ群落	ヤシャブシの優占する群落。	1427
14028	ヤシャブシ群落(低木林)	群落高4m未満のヤシャブシ群落。	1428
14029	ヌルデーアカメガシワ群落	ヌルデー・アカメガシワ・ネムノキのいずれかが優占あるいは混生する群落。エノキ、ムクノキ、オニグルミ、ヤマグワと混生することがある。比較的乾燥した河川敷に成立する。	1429
14030	ヌルデーアカメガシワ群落(低木林)	群落高4m未満のヌルデーアカメガシワ群落。	1430
14031	ヤマグワ群落	ヤマグワが優占した群落。ヌルデー、アカメガシワ、エノキ、ムクノキ、オニグルミと混生することがある。適潤地に成立する。	1431
14032	ヤマグワ群落(低木林)	群落高4m未満のヤマグワ群落。	1432
14033	オニグルミ群落	オニグルミが優占した群落。ヌルデー、アカメガシワ、エノキ、ムクノキ、ヤマグワと混生することがある。適潤地に成立する。	1433
14034	オニグルミ群落(低木林)	群落高4m未満のオニグルミ群落。	1434
14035	ムクノキーエノキ群落	ムクノキとエノキのいずれかが優占あるいは混生する群落。ヤマグワ、オニグルミ、ヌルデー、アカメガシワと混生することがある。関東地方以西に分布する。ヌルデーアカメガシワ群落、オニグルミ群落、ヤマグワ群落より遷移が進行した林分。	1435
14036	ムクノキーエノキ群落(低木林)	群落高4m未満のムクノキーエノキ群落。	1436
14037	シラカンバ群落	シラカンバが優占する群落。ハルニレ、ヤチダモが混生することがある。	1437
14038	シラカンバ群落(低木林)	群落高4m未満のシラカンバ群落。	1438
14039	フサザクラ群落	フサザクラが優占する群落。溪流辺に成立する群落。	1439
14040	フサザクラ群落(低木林)	群落高4m未満のフサザクラ群落。	1440
14041	ケヤマハンノキ群落	ケヤマハンノキが優占する群落。オノエヤナギ、アキタブキ、オオハンゴンソウ、エゾヤナギなどによって区分される。	1441
14042	ケヤマハンノキ群落(低木林)	群落高4m未満のケヤマハンノキ群落。	1442
14043	カラコギカエデ群落	カラコギカエデが優占する群落。	1443
14044	カラコギカエデ群落(低木林)	群落高4m未満のカラコギカエデ群落。	1444
14045	ナラガシワ群落	ナラガシワが優占する群落。沖積地に生育し、西日本に比較的好く分布する。	1445
14046	ナラガシワ群落(低木林)	群落高4m未満のナラガシワ群落。	1446

# 植物群落の解説

## <15> 落葉針葉樹林

1/1

分類	河辺植生域
基本分類コード	15
基本分類	落葉針葉樹林
基本分類の定義	落葉針葉樹が優占する群落。調査時の群落高が4m未満の群落は低木林として区分する。

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
—	—	<p>※平成13年度までに実施した植物調査では、落葉針葉樹林に該当する群落は確認されなかった。従って、落葉針葉樹林に該当する群落を確認した場合は新規の群落として取り扱い、現地調査において分布が確認されたものは必ず群落組成調査を実施する。</p> <p>&lt;群落の例&gt;カラマツ群落等</p>	—

# 植物群落の解説

<16> 常緑広葉樹林

1/1

分類	河辺植生域
基本分類コード	16
基本分類	常緑広葉樹林
基本分類の定義	常緑広葉樹が優占する群落。調査時の群落高が4m未満の群落は低木林として区分する。

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
16001	マサキトベラ群集	マサキとトベラのいずれかが優占あるいは混生する群落。東北以南に分布する。海岸風衝地に成立する。	161
16002	アラカシ群落	アラカシが優占する群落	162
16003	アラカシ群落(低木林)	群落高4m未満のアラカシ群落。	163
16004	シラカシ群落	シラカシが優占する群落	164
16005	シラカシ群落(低木林)	群落高4m未満のシラカシ群落。	165
16006	スタジイ群落	スタジイが優占する群落。	166
16007	スタジイ群落(低木林)	群落高4m未満のスタジイ群落。	167
16008	ツブラジイ群落	ツブラジイが優占する群落。ツブラジイ・ミズバイ・ササクサ等によって区分される。	168
16009	ツブラジイ群落(低木林)	群落高4m未満のツブラジイ群落。	169
16010	タブノキ群落	タブノキとヤブニツケイのいずれかが優占あるいは混生する群落。	1610
16011	タブノキ群落(低木林)	群落高4m未満のタブノキ群落。	1611
16012	ウバメガシ群落	ウバメガシが優占する群落。中部地方以南に分布する。海岸風衝地に成立する。	1612

# 植物群落の解説

## <17> 常緑針葉樹林

1/1

分類	河辺植生域
基本分類コード	17
基本分類	常緑針葉樹林
基本分類の定義	常緑針葉樹が優占する群落。調査時の群落高が4m未満の群落は低木林として区分する。

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
17001	クロマツ群落	クロマツの優占する群落。ただし、植林起源のものはクロマツ植林として扱う。	1701
17002	クロマツ群落(低木林)	群落高4m未満のクロマツ群落。	1702
17003	アカマツ群落	アカマツの優占する群落。ただし、植林起源のものはアカマツ植林として扱う。	1703
17004	アカマツ群落(低木林)	群落高4m未満のアカマツ群落。上流域の砂礫地に先駆群落を形成する。	1704



# 植物群落の解説

<18> 植林地(竹林)

1/1

分類	造林地
基本分類コード	18
基本分類	植林地(竹林)
基本分類の定義	造林地は明らかに植栽された森林とし、優占する植栽種で区分する。このうち、タケ類が優占する群落をこの基本分類とする。かつて植栽され、現在自生している竹林もこの基本分類に含む。

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
18001	モウソウチク植林	モウソウチクが優占する群落。マダケが同程度混生する場合は、マダケ植林とする。上層にコナラ・クヌギ・シラカシ・ケヤキなどが優占あるいは混生する場合も下層でモウソウチクが優占する場合にはモウソウチク植林として区分する。	181
18002	マダケ植林	マダケが優占する群落。上層にコナラ・クヌギ・シラカシ・ケヤキなどが優占あるいは混生する場合も下層でマダケが優占する場合にはマダケ植林として区分する。	182
18003	ナリヒラダケ植林	それぞれナリヒラダケ・ホウライチク・ホテイチク・ハチク・ヤダケ・ヤシャダケが優占あるいは混生する竹林。モウソウチク植林・マダケ植林と同様に、上層にコナラ・クヌギ・クリ・アラカシ・スダジイ・ケヤキなどが優占あるいは混生する場合でも、下層にタケ類が優占する場合はタケ類を代表とした植林として取り扱う。マダケが混生する場合も同様に扱う。	183
18004	ホウライチク植林		184
18005	ホテイチク植林		185
18006	ハチク植林		186
18007	ヤダケ植林		187
18008	ヤシャダケ群落		188

## 植物群落の解説

<19> 植林地(スギ・ヒノキ)

1/1

分類	造林地
基本分類コード	19
基本分類	植林地(スギ・ヒノキ)
基本分類の定義	造林地は明らかに植栽された森林とし、優占する植栽種で区分する。このうち、スギ・ヒノキが植林されている植林地をこの基本分類とする。なお、サワラの植林もこの基本分類に含める。

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
19001	スギ・ヒノキ植林	スギ、ヒノキ、サワラのいずれかが優占あるいは混生する植林。	191

# 植物群落の解説

<20> 植林地(その他)

1/1

分類	造林地
基本分類コード	20
基本分類	植林地(その他)
基本分類の定義	造林地は明らかに植栽された森林とし、優占する植栽種で区分する。基本分類「植林地(竹林)」「植林地(スギ・ヒノキ)」を除いた、その他全ての植林地をこの基本分類とし、外来種の樹林は全てこの基本分類とする。ただし、施設等に付随している樹林は除く。

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
20001	カラマツ植林	竹林、スギ・ヒノキ植林を除いたその他の植林。 明らかに管理が施されているアカマツやクロマツの植林地もここに含め、常緑針葉樹林のアカマツ群落、クロマツ群落とは区別する。	201
20002	アカトドマツ植林		202
20003	オオバヤシャブシ植林		203
20004	シダレヤナギ植林*		204
20005	クスノキ植林		205
20011	チャンチン植林*		2011
20012	クロマツ植林		2012
20013	アカマツ植林		2013
20014	ネコヤナギ植林		2014
20015	キリ植林*		2015
20017	シナサワグルミ植林*		2017
20006	センダン群落*		センダンの優占する群落。
20007	ナンキンハゼ群落*	ナンキンハゼの優占する群落。	207
20008	シンジュ群落*	シンジュの優占する群落。	208
20009	ハリエンジュ群落*	ハリエンジュの優占する群落。	209
20016	キササゲ群落*	キササゲの優占する群落。	2016
20010	植栽樹林群	公園等の施設の樹林(サツキ植林・サンゴジュ群落など)や堤防上のソメイヨシノ植林などといった、見かけ上樹林の相観を持つが階層構造をもたない樹林は植栽種を明記した上で、植栽樹林群としてまとめる。 <植栽樹林群の例> 植栽樹林群(サツキ・サンゴジュ)	2010

\* : 外来種が優占する植物群落

# 植物群落の解説

## <21>果樹園

1/1

分類	耕作地
基本分類コード	21
基本分類	果樹園
基本分類の定義	茶畑を除いた果樹園・桑畑・樹園地・梅園などとして、植栽樹木を利用・管理されているもの全てを含む。利用・管理放棄後、周辺から他種の侵入・生育がみられても、果樹やマグワ、苗木等が優占している場合は、この基本分類に含める。

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
21001	クワ畑	養蚕目的でマグワを植栽した場所。利用・管理放棄後、周辺から他種の侵入・生育がみられても植栽種であるマグワが優占している場合は、この基本分類に含める。	211
21002	果樹園	果実採取を目的として、リンゴ、ナシ、ウメ、クリなどの果樹を植栽した場所。利用・管理放棄後、周辺から他種の侵入・生育がみられても植栽種である果樹が優占している場合は、この基本分類に含める。	212
21003	樹園地	苗木や園芸用樹木の生産目的で樹木を植栽した場所。利用・管理放棄後、周辺から他種の侵入・生育がみられても植栽種が優占している場合は、この基本分類に含める。	213

# 植物群落の解説

<22>畑

1/1

分類	耕作地
基本分類コード	22
基本分類	畑
基本分類の定義	主に花卉や野菜類などの草本類を栽培するための耕作地および茶畑。放棄から数年以内で1年生草本が優占し、多年生草本をほとんど含まない群落が成立している耕作放棄地や、管理が放棄されて周辺から他種の侵入・生育があるが、植栽種であるチャノキが優占している放棄茶畑も、この基本分類に含める。

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
22001	茶畑	茶葉の採取を目的にチャノキを植栽した畑。管理が放棄されて周辺から他種の侵入・生育がみられても、植栽種であるチャノキが優占している放棄茶畑は、この凡例に含める。	221
22002	畑地(畑地雑草群落)	主に、花卉や野菜類などの草本類を栽培するための耕作地や休耕地の全てを含む。放棄から数年以内で1年生草本(主にシロザクラスの種)が優占し、多年生草本をほとんど含まない群落が成立している放棄耕作地も含める。	222

# 植物群落の解説

<23>水田

1/1

分類	耕作地
基本分類コード	23
基本分類	水田
基本分類の定義	イネ・ハス・クワイなどの栽培のために、水田として耕作・管理されている耕作地や休耕地の全てを含む。放棄から数年以内で1年生草本(主にイネクラスの種)が優占し、多年生草本をほとんど含まない群落が成立している耕作放棄地も水田に含める。

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
23000	水田	基本分類の定義と同じ	23

# 植物群落の解説

<24>人工草地

1/1

分類	人工草地
基本分類コード	24
基本分類	人工草地
基本分類の定義	家畜のための採草や放牧に利用されている草地一般。外来牧草の植栽・播種地を含む。なお、グラウンド、公園、ゴルフ場などの施設地等の芝地はこの分類に含めず、「グラウンドなど」の基本分類に含める。また、堤防地管理の一環として草刈り・火入れ等が行われているイネ科草本群落等はこの分類には含めず、構成種の種組成を調査して該当群落に区分する。

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
24000	人工草地	基本分類の定義と同じ	24

# 植物群落の解説

<25>グラウンドなど

1/1

分類	施設地等
基本分類コード	25
基本分類	グラウンドなど
基本分類の定義	公園・グラウンド、ゴルフ場など、施設として整備・土地利用されている箇所のうち、人工構造物を除いた場所。なお、これらの施設に付随する植林、草地を群落区分する必要はない。造成中の無植生地や資材置き場、駐車場等として利用され、高い頻度で踏圧を受けている場所は植被率に関わらず、全てこの基本分類に含める。

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
25001	公園・グラウンド	公園やグラウンドとして整備されている場所。施設利用のため、無植生地化した場所も含む。これらの施設に付随する植林、草地、水域、人工裸地を区分する必要はない。	251
25002	ゴルフ場	ゴルフ場として、整備されている場所。これらの施設に付随する植林、草地を群落区分する必要はない。	252
25003	人工裸地	施設整備などのため造成地や空き地、資材置き場、駐車場等として利用され、高い頻度で踏圧を受けている場所は全て人工裸地とする。なお、未舗装の道路・通路は含まないことに留意する。	253



# 植物群落の解説

<26>人工構造物

1/1

分類	施設地等
基本分類コード	26
基本分類	グラウンドなど
基本分類の定義	公園・グラウンド、ゴルフ場などに付随する建築物や、護岸壁・堰など河川管理用の構造物、道路など、人工の構造物が占有する場所。

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
26001	構造物	公園・グラウンド、ゴルフ場などに付随する建築物など、河川管理以外の人工構造物の全てを含む。	261
26002	コンクリート構造物	護岸壁、堰など、河川管理用の構造物の全てを含む。	262
26003	道路	舗装、未舗装に関わらず、道路や通路として利用されている場所。橋梁は道路として取り扱う。	263

# 植物群落の解説

<27>自然裸地

1/1

分類	自然裸地
基本分類コード	27
基本分類	自然裸地
基本分類の定義	流路の変動等で形成された裸地。植被率は5%以下とする。ただし、駐車場等の目的を持って整備され、裸地化した箇所は含まない。

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
27000	自然裸地	基本分類の定義と同じ	27

# 植物群落の解説

<28>開放水面

1/1

分類	水面
基本分類コード	28
基本分類	開放水面
基本分類の定義	流水面や高水敷の池などで、沈水植物群落、浮葉植物群落が成立していない水面。水田の水面は開放水面ではなく、水田に含める。

群落区分コード	群落名	概要	群落表示コード
28000	開放水面	基本分類の定義と同じ	28